

## DF 設立 20 周年について

2022 年 8 月 19 日

考えてみれば、ANA を定年退職してから今年で 20 年になり、その時間をずっと DF で過ごしてきた。ANA にいた時間以上に充実した日々を過ごせたと思うし、多くのことを学び、視野も広がった。この 20 年を振り返るのも意味のあることと理解し、日々の生活を振り返り、整理した。参考にしたのは、「私の手帳」2003 年～2021 年分と、「DF15 年の歩み（活躍するシニア集団）」2017 年 8 月発刊です。

2002 年 DF 入会 NO.45 (ANA 退職前に入会)。

2003 年 4 月、60 歳 ANA 定年退職

なんでこんなことになったのか？いつか日付は忘れたが、ある日 ANA 社長の普勝清治氏から呼ばれて、「パソナの南部さんがディレクトフォースという団体を立ち上げたのだが、お前もここに入れてくれ」と言われた。役員にしてやれずにここに参加しろというのは申し訳ないが、退職後の人生をこの団体で大切に生きてくれというものだという。何もわからずに断ることもできず、ハイわかりましたというほかなかった。

(別件 個人の都合)

2007 年 10 月、横浜家裁川崎支部、調停委員。2014 年 4 月まで 6 年半勤務。家裁の調停委員の間は結構忙しく、勉強もしなければならず、DF の活動に集中できないこともあったと思う。平均月 10 回くらいは調停があったと思うし、調停委員同士での付き合いも有意義だった。

**以下、私の DF での経験とお世話になった方の話などを書いてみる。**

**DF に入会して最初に参加したのが監査役部会**

2つのグループがあり、泊 久次氏（丸紅監査役） 今井 祐氏（富士写真フィルム副社長） 井上高明氏、私、その他。もう一つのグループは、上原俊夫氏、その他。

（その他の方の名前は思い出せず）

各6～7人のグループでの勉強会であったが、発表会もあり、今も記憶に残っている。今年（2022年）7月30日、ガバナンス部会の発表会 A,B があり、参加して昔を思い出した。A 新しい資本主義 B 社外取締役と社外監査役の在り方。昔と同じような話だな。

### **緑のボランティア（環境部会・自然保全分科会）**

DFに参加した目的の一つは体を鍛えることであり、里山や各地の山仕事で体を鍛えるとともに、酒を飲みながら楽しい時間を過ごすことであった。

・**草津、上越：緑のボランティア** 本場のコメで作った日本酒の味は独特。温泉付き。

・**富士山：住友林業学びの森** 富士の一角を国から預かってしっかり保守する。

・**平塚：ゆるぎの里** 地元とともに山道を整備したり、橋をきれいにしたりする。

何といても、森林インストラクターの資格を取られ、全てに**児玉 亨**さんが中心になられ、まとまって過ごすことができた。他にも多くの方が参加された。現在は、平塚ゆるぎの里が現場として残っているくらい。駒場公園旧前田邸庭園整備

が新しく加わっている。私も心と体の老化で、木を切ったりする力がなく欠席が続いている。

児玉亨さんももっと前にフォーカスワンに移られた。何かがあった。

### **環境セミナー分科会** 次の通り3回呼称変更があった

環境問題研究会(2007・6月～2008・7月) 環境時事セミナー（2008・11月～2014・2月）環境セミナー（2014・7月～現在）

環境セミナー分科会は何ととっても、**嶋矢志郎**さんの世界です。日経新聞の副編集長まで務められ、地産地消の環境対策からセミナーへ。

セミナーのテーマと講師の選択と交渉、私ではとても出来ない難しい仕事でした。

そして、**野村俊彦**さんと**三納吉二**さんです。

野村さんは、環境見学企画のリーダーの後、セミナー分科会に加われ、いろいろな点で助けていただいた。特に人をよくご存じだった。

三納さんはセミナーの案内文、終了後の記録などで徹底的に修正され、文面だけでなく、修飾画や写真などで引き立てくれました。長い間肺の病気に悩まされましたが、

今年春亡くなられましたが、寂しいです。

## 余談

私の手帳に載っている総会(講演交流会)と環境セミナーで記憶に残る講演を、一つずつ探してみました。

1) 総会 2010年12月7日 呉 善花「日本人の美風と日本力」

面白かったし考え方は違うとはっきり頭の中に、呉 善花の名前が残りました。

2) 環境時事 2013年3月18日 河野太郎「ポスト福島のエネ政策」

大きな声で明快に物申す語り口に感心して聞いていました。私の内容理解は今一。

上記2点は DFHP に記録が残っているが、上の日付は実施日で、記録は議事録の登録日なので、注意してご覧ください。

併せて気が付きお知らせしますが、どの講演会もその他の会合も実にきめ細かく整理されていて、時間のある時に読んでみる価値は十分にあると思います。

HPの左の該当欄で、実施が2000何年かを調べてクリックして探します。

(HPの環境部会-トピックスに年次別に掲載)

**次に最近の環境セミナーで是非、記録をご覧いただきたい3点をお知らせします。**

**時期を得た最高の内容だったと自負しています。**

第47回環境セミナー 「IPCCの第6次報告書には、何が書かれているか」  
江守正多

第48回 “ 「EU・ドイツの気候変動との闘い」熊谷 徹

第49回 “ 「ロシアのウクライナ侵攻は世界をこう変えた」熊  
谷 徹

**最後に、参加した同好会のPRを。**

合唱団 (Sing Joy) 6~7年前に参加 現在23名。

全くの素人ですが何とか遅れずについてきました。パートはセカンドテナー。  
疲れた時、慣れた曲を声を出して歌うのは気が休まる。聞くのはもっと安楽。  
このコロナ禍の中でも1月からZoom、4月からリアルで練習。

**写真同好会。**最近名前を変え、**華写の会**という。華写とはどういう意味？

最近家庭の事情もありあまり参加していないが、写真撮影は楽しい。何を狙って撮影したのか、しっかり訴えるものを撮るのが本質。

20年を振り返って、これからどうすればいいか、しっかり自分で考えていかねばならない。体力の問題も出てきた。

以上